

# SNMPトラップは Cisco Aironet アクセスポイントの WEPキーを明らかにします

severity アドバイザリーID : cisco-sa-20031202-SNMP-trap

初公開日 : 2003-12-02 17:00

バージョン 1.0 : Final

回避策 : [Yes](#)

Cisco バグ ID :

**日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。**

## 概要

Cisco IOS® ソフトウェアを実行する Cisco Aironet Access Points ( AP ) は簡易ネットワーク管理プロトコル ( SNMP ) サーバに `snmp-server enable traps wlan-wep` コマンドが有効になる場合クリアテキストの静的な Wired Equivalent Privacy ( WEP ) キーを送信します。影響を受けたハードウェアモデルは Cisco Aironet 1100、1200、および 1400 シリーズです。このコマンドはデフォルトでは無効になっています。回避策はこのコマンドをディセーブルにすることです。どの動的に設定された WEPキーでも表われません。

VxWorks オペレーティングシステムを実行する Cisco Aironet AP モデルはこの脆弱性から影響を受けません。その他のCisco製品は影響を受けていません。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20031202-SNMP-trap> で利用できます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

Cisco Aironet AP 1100、Cisco IOSソフトウェアを実行する 1200、および 1400 シリーズは影響を受けています。Cisco AP 350 実行 Cisco IOSソフトウェアは影響を受けていません。

VxWorks ベースのオペレーティング システムを実行する AP は影響を受けていません。

Cisco IOSソフトウェアを実行したかどうか確認するために、AP の IP アドレスと "10.0.0.1" を取り替えるワークステーションの次のコマンドを入力して下さい。

```
host%telnet 10.0.0.1
```

図形のメニューと単に敏速のと ( ap1200% のような ) 示されなければ、脆弱かもしれません。

更に Cisco IOSソフトウェアを実行していることを確認するために、プロンプトで **show version** コマンドをタイプして下さい。コマンドの結果が下記の例に類似したである場合、Cisco IOSソフトウェアを実行しています。

```
ap1200>show version
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) C1200 Software (C1200-K9W7-M), Version 12.2(11)JA1, EARLY DEPLOYMENT RELEASE SOFTWARE
(fc1)
TAC Support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 1986-2003 by cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 07-Jul-03 13:48 by ccai
Image text-base: 0x00003000, data-base: 0x004D46F4
```

Cisco IOSソフトウェアは AP で使用されていることを判別したら、次のコマンドを実行して下さい。

```
ap1200#show running
.
.
.
.
snmp-server enable traps tty
snmp-server enable traps dot11-qos
snmp-server enable traps wlan-wep    <<<<<<
....
```

設定がでマークされる行が << 含まれている場合、脆弱です。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

### 改訂履歴

リビジョン 1.0	2003-Dec-02	初回公開リリース
--------------	-------------	----------

### 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。